

令和8年7月30日

脳卒中・心臓病等総合支援センター担当者 各位

国立循環器病研究センター
循環器病対策情報センター長 飯原弘二

令和8年度熊本地震において、被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。先日の「第1回脳卒中・心臓病対策に係る情報共有会」では、全ての都道府県から循環器病対策の行政担当ならびに脳卒中・心臓病等総合支援センターの皆様にご参加いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、循環器病対策情報センターでは、循環器病に係る情報収集・発信をタイムリーに行うことを目指しております。このたび、令和7年度厚生労働科学研究 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策事業 「多彩な自然災害発災時における循環器病発症・再発予防に資する注意喚起ツールの開発研究」の研究代表者 熊本大学 辻田賢一教授から、災害時の循環器病等の発症予防に関する啓発ポスターならびにハンドブックを、脳卒中・心臓病等総合支援センターの皆様への情報共有のために、ご提供いただきました。

災害時に循環器病等の発症を予防するために、「市民のみなさんができること」として、エコノミークラス症候群、脳卒中・心筋梗塞、不整脈、血圧の管理、心不全等について、わかりやすく情報をまとめています。

本研究において作成されました「市民向け」、「行政向け」のポスターを添付いたしますので、関連部署への情報提供・ポスター掲示等、循環器病対策の推進に活用いただけますと幸いです。

今後とも、循環器病対策の推進のご理解、ご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

【添付資料】

- ・災害時の循環器病等 発症を予防しよう！【市民のみなさんができること】
- ・災害時に循環器病等の発症を予防するために【行政でできること】
- ・多彩な災害時の発生する脳卒中・心臓病等の現状とその対策（ハンドブック）

担 当：国立循環器病研究センター
循環器病対策情報センター 事務局
メール：cvdjoho01@ncvc.go.jp
電 話：06-6170-1069 （内線 21203）